

令和7年3月17日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## 生成AIが山梨大学の研究について答える 「山梨大学 学術論文対話システム」の運用を開始

山梨大学は、文部科学省「オープンアクセス加速化事業」の採択を受け、この度、株式会社日立製作所（<https://www.hitachi.co.jp/>）と共に、本学の研究者が執筆した学術論文の情報に基づいて生成AIが対話形式で「山梨大学の研究」に関連する質問に答えるシステムを構築し、令和7年3月17日より運用を開始しました。

このシステムにより、高校・大学生や企業、地域の方々に、より深く本学の研究について知っていただく機会となることを期待しています。

### 山梨大学 学術論文対話システム

<https://www.air.yamanashi.ac.jp>

※事前登録不要、利用無料



### 【本システムの特長】

- 自然言語を用いた対話型検索が可能
  - ・英語での質問には英語で回答可能
- 利用される方の属性・立場に応じた回答が可能
  - ・一般の方の研究に関する検索について、山梨大学の取り組みを回答
  - ・高校生や大学生が自身の興味のある分野に関して山梨大学でどのような研究を行っているかの検索について、わかりやすくその内容を回答
  - ・地域の企業による山梨大学との共同研究に関する検索について、本学の研究内容を回答

#### 〈本システムに関する問い合わせ〉

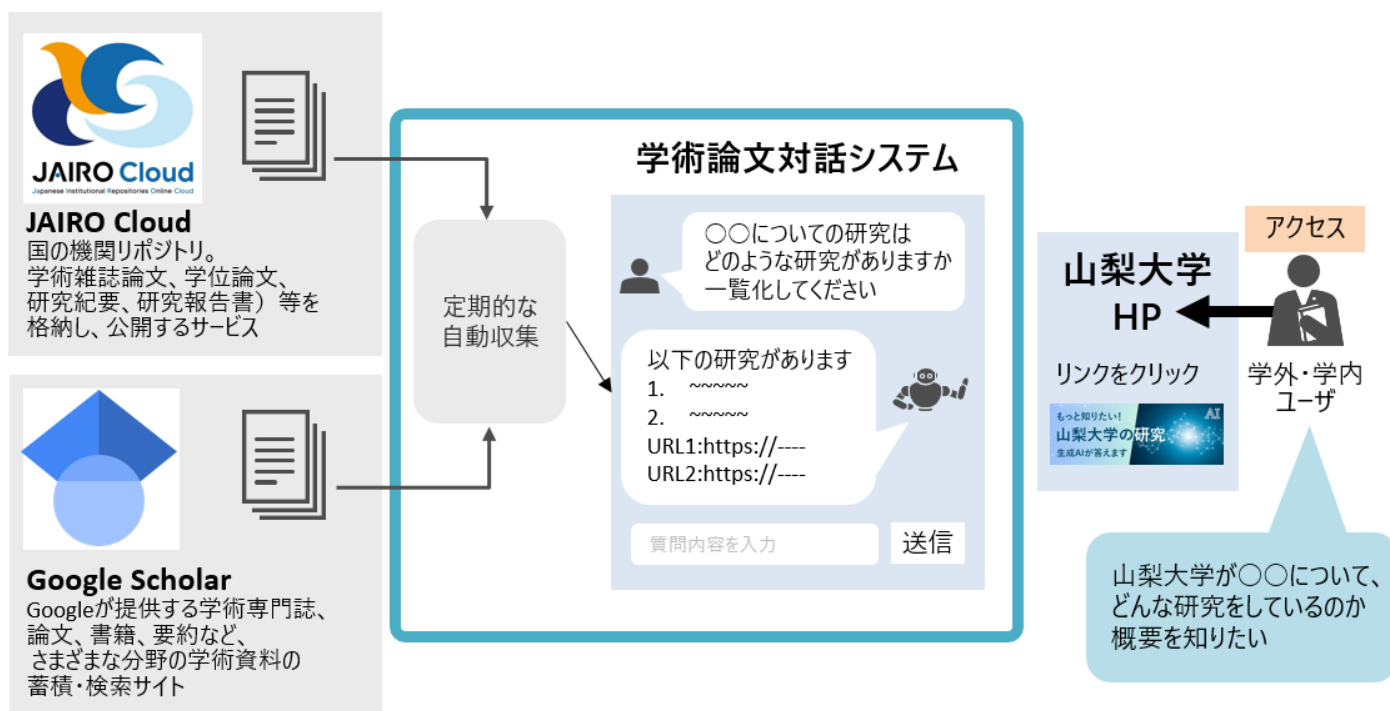
山梨大学 研究推進・社会連携機構  
研究力強化推進センター  
Tel : 055-220-8762  
E-mail : [ura-tr@yamanashi.ac.jp](mailto:ura-tr@yamanashi.ac.jp)

#### 〈広報に関する問い合わせ〉

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室  
Tel : 055-220-8005, 8006  
E-mail : [koho@yamanashi.ac.jp](mailto:koho@yamanashi.ac.jp)

## 山梨大学 学術論文対話システムの説明

本システムは、検索拡張生成（RAG : Retrieval-Augmented Generation）と呼ばれる技術を利用しており、これは質問に対する回答を、事前に存在する情報を利用して生成する自然言語処理の技術です。本システムでは、山梨大学機関リポジトリ（NII（国立情報学研究所）が提供する（JAIRO Cloud）上で運用）の学術論文・博士論文に加えて、Web サービスである学術検索エンジン Google Scholar から本学教員名簿情報に基づいて取得した学術論文を情報源として利用しています。このような構成のシステムは、世界でも極めて少ないものです。



- 山梨大学機関リポジトリ <https://yamanashi.repo.nii.ac.jp/>
- Google Scholar <https://scholar.google.com/>

## 本学におけるオープンアクセス加速化事業の説明

本学のビジョンの一つは「大学の強みを生かした世界トップレベルの学術研究の推進」であり、それを実現することが究極の目的です。その環境整備として、以下の3本柱の取組を行います。

### (1) 誰も置き去りにしないオープンアクセスの実現

- ・ 教員の研究業績評価システムと密にリンクした機関リポジトリとのデータ交換システムを構築します。
- ・ オープンアクセスの意義を理解したうえでオープンアクセスを実施できるように啓蒙／教育するコンテンツを制作し、学外にも公開します。

### (2) 研究プロジェクトの開始時点からメタデータ付与を行う研究体制の確立

- ・ 即時メタデータ付与を実現する体制を構築します。
- ・ そのシステムを活用するための啓蒙／教育活動を実施し、研究プロジェクト開始時点からメタデータ付き研究データの蓄積を実現します。

### (3) 真の意味での万人への情報提供の実現

- ・ 専門外の方でも論文内容をイメージできるように、オープンアクセス時にはグラフィカルアブストラクトを付与する仕組みを構築します。
- ・ 機関リポジトリを訪れた学外の方が、「山梨大学の特定分野の研究」が俯瞰できるような要約文章を提供する仕組みを構築します。

山梨大学 学術論文対話システムは波下線をつけた部分に該当します。

●山梨大学オープンアクセス加速化事業関連ページ <https://www.yamanashi.ac.jp/social/49033>

## オープンアクセス加速化事業の説明

オープンサイエンスは、論文のオープンアクセスと研究データのオープン化・共有化（オープンデータ）を含む、研究成果の共有・公開を推進し、研究活動の加速化や新たな知識の創造等を促す世界的な潮流です。我が国でも、2025（令和7）年度から新たに公募を行う競争的研究費（科研費を含む）を受給する者に対し、論文及び根拠データの学術誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等への掲載を義務づける方針が示されました。それを受けて、文部科学省においては「オープンアクセス加速化事業」が推進されています。

●統合イノベーション戦略推進会議決定 [https://www8.cao.go.jp/cstp/oa\\_240216.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf)

●文部科学省ホームページ

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1421775\\_00008.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1421775_00008.htm)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1421775\\_00009.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1421775_00009.html)